



定期借地権設定

ワンルームマンション

の民間付帯事業！

習志野市議会は、11月22日に2018年市議会第4回定例会が招集され、12月20日に閉会します。これまでご報告した議案の他、大久保地区公共施設再生事業のうち、最も駅に近い市有地を民間に借地として提供し、民間事業者がワンルームマンションとカフェ等を経営する事業のため、定期借地権を設定する議案が提案されました。

◎ 定期借地権の設定（大久保地区公共施設再生事業民間付帯事業用地）

- 1、貸付する土地の表示
 習志野市本大久保3丁目450-1
 地目：宅地
 地積：1337,01㎡
- 2、貸付の目的： 民間付帯事業用地
- 3、貸付期間： 50年間に建物の築造に要する期間を加えた期間
- 4、相手方：
 スターツコーポレーション株式会社

この、民間付帯事業については、「市民の十分な理解が得られていない。」という意見も多いです。市の説明責任が問われています。

【一般質問】

また、12月4日（火）の市長への一般質問について、先週に続いてご報告します。

（2）障がい者の自立のための取組み

習志野市には障がい者手帳をお持ちの方が6000名以上おられる。障がい者を「子」として持つ保護者にとって、我が子の将来については常に「心配なこと」。障がい者の方が自立を目指し、将来も自立して暮らしていくために、どのような取組みが行われているのか、伺う。

【質問：藤崎】

就労支援制度はどのように利用するのか。

【回答：健康福祉部長】

「就労移行支援サービス」：能力向上のための訓練、就職活動に関する支援。
 「就労定着支援サービス」：継続するための連絡調整や相談助言など。

（裏面に続く）

12月議会日程	
11日（火）	総務・都市環境 常任委員会
12日（水）	協働経済・文教福祉 常任委員会
13日（木）	予算特別委員会
14日（金） ～ 19日（水）	委員会報告作成など 最終日に向けた準備。
20日（木）	本会議。議案、請願など について、質疑、討論、 採決をして、閉会。

「就労継続支援サービス」：企業への就労が困難な方へのサービス。日中の生活の場という目的での利用にも対応。

【質問：藤崎】

経済面での助けとなる制度はどのようなものか、伺う。

【回答：健康福祉部長】

まず、国の制度である、障害年金。20歳に達したときから。次に、20歳になるまでの手当の制度。特別児童扶養手当、障害児福祉手当の二つ。

【要望】

- ・相談できる体制の更なる充実。
- ・グループホーム等の施設の拡大と充実。
- ・国に対して支援を拡大するよう求める事。

（3）市民の就労支援の取組みについて

【質問：藤崎】

市民のうち、生活困窮の方の就労支援はどのように行っているのか、伺う。

【回答：健康福祉部長】

生活困窮者の自立支援の相談窓口として「らいふあっぷ習志野」を設置し、自立相談支援事業の中で、就労支援を実施。「ハローワーク」への同行もあり、「ハローワーク」と「らいふあっぷ習志野」の支援員が一体となって、就職活動を支援している。

【質問：藤崎】

就職後の支援、アフターフォローはどのように行っているのか、伺う。

【回答：健康福祉部長】

就職後も電話による就労状況の確認、相談などにより支援を継続している。

【要望】

生活困窮者の就労支援は、相談者の立場に立つて行うこと、誠実な対応を行うことを要望する。

（4）高齢者が地域で活動するための取組

【質問：藤崎】

高齢者が地域で生き生きと活動し、生きがいを見出して暮らせるための、地域の人材を活かせるような取組みは、どのように行われているのか、伺う。

【回答：健康福祉部長】

「高齢者に適した仕事をしたい」などの相談にはシルバー人材センターを紹介。「地域のために活動したい」などのご希望がある場合は、習志野市ボランティア・市民活動センターを紹介している。

【要望】

地域と市が協力していく取組を要望する。



12月16日（日）、袖ヶ浦公民館で、年末年始事業の一つ、「ミニ門松づくり」が行われ、40名の児童が参加しました。本門松も学校、こども園、公民館に手作りで設置。素晴らしい出来栄でした。